

# おたふくかぜワクチン

[ムンプス・流行性耳下腺炎]

## 接種を受けた後の注意

監修／菅 秀 先生(独立行政法人国立病院機構三重病院 副院長)

1

● 予防接種を受けた後30分以内に、まれに急な副反応が起こる場合がありますので、お子様の様子をよく観察してください。接種後30分程度は医療機関またはその近くにいるか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。



2

● 接種後4週間は副反応の出現に注意しましょう。

3

● 副反応の主なものは接種部位の発赤、腫れです。接種後20日前後に発熱や耳下腺の腫れが見られることがあります。また、まれにショック、アナフィラキシー、無菌性髄膜炎、急性散在性脳脊髄炎(ADEM)、脳炎・脳症、血小板減少性紫斑病、難聴、精巣炎(睾丸腫大)、急性膀胱炎が起ることがあります。そのような症状が出た場合は、医師にご相談ください。



裏面も必ずお読みください。



4

接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は可能ですが、接種部位をこすることはやめましょう。



5

次の接種でロタウイルスワクチン以外の他の生ワクチン(MR、水痘など)を接種をする場合は「27日以上の間隔」をあけてください。次の接種でロタウイルスワクチンおよび不活化ワクチンを接種する場合は決まった接種間隔はありません。また、他のワクチンと同時に接種する場合は医師に相談してください。

6

ワクチン接種後は少なくとも2ヵ月間妊娠を避ける必要があります。また妊娠をしている女性および妊娠している可能性がある女性はワクチンを受けることができません。



7

接種後は普段どおりに生活ができますが、接種当日ははげしい運動は避けてください。

8

接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

(公財) 予防接種リサーチセンター「予防接種と子どもの健康2022年度版」から転載(一部改変)

医療機関名



武田薬品工業株式会社